

沖縄県学校体育研究連合会『功労者賞』

～受賞者の喜びの声～



「小体研にかかわって」

与那国町教育委員会 高木健一郎

このたびは、このような素晴らしい賞をいただき、ありがとうございました。自分がこのような賞の対象となることをこれまで意識したことがなかったので、大変恐縮しています。これも偏に熱い志をもった先輩方、同僚、後輩に恵まれたおかげです。わたしと小体研とのかかわりは、採用された登野城小学校で、熱い先輩方との出会いからでした。

登野城小学校には、当時、漢那憲吉先生や吉濱剛先生がおり、採用されたばかりの私は、両先生に大変お世話になりました。漢那先生には、「放課後、体育館へ来い！」の一言からバスケットボールの世界に引きずり込まれ、吉濱先生には、水泳指導をきっかけに、「小体研と言って体育の授業を研究しているから、おまえも入れ」ということで、気づけば、体育の授業にどっぷりとはまり込んでいました。普通の授業だけでも大変な中、部活指導もし、さらに、自主的に授業の研究をするということは本当に大変だったなとふり返っても思いますが、体育の授業は、体力の向上や運動技能の向上に加え、仲間とかかわりあうことを通して協力したり助け合ったりすることができるようになるなど、学級経営にも生かすことができました。なによりも、授業を通して子どもたちから「楽しかった～」や「できるようになってうれしかった」という言葉を聞くと、私自身がとても励まされました。また、小体研でのかかわりを通して、体育が好きなたくさんの仲間ができ、熱い先輩方に叱咤激励され、いつのまにかたくさんの後輩もでき、その仲間達に支えられてこれまでやってこれたと思っています。本当にすべての方々に感謝です。

また、私を陰で支えてくれた家族にも、本当に感謝をしています。これからも、微力ではありますが、八重山地区の先生方、後輩たちのために力になれるようにがんばっていきたいと思います。今後とも、よろしく願いいたします。



「小体研との出会い」

竹富町立大原小学校 教頭 新垣三貴子

「体育で学級経営はいいぞ!」と当時の会長、吉濱剛先生から声をかけて頂いたことが小体研との出会いでした。また八重山教育事務所指導主事だった前三盛敦先生から西部地区体育指導者実技研修会子どもの体力向上指導者養成研修(西部ブロック)に派遣して頂き、「体づくり運動」の領域において、心地よい筋肉痛になりながら楽しく多くのことを学んだ「体ほぐしの運動」及び「多様な動きをつくる運動」。沖縄本島、八重山地区での体育実技伝達講習会で講師として、同期の仲底美香先生に助けをもらいながら、先生方へ伝達を行いました。男女関係なくどの先生もとても楽しそうに協力し合って体を動かし活動している姿から、吉濱先生がおっしゃったことだ!と実感する事ができ、体育をもっと学びたい、やっぱり体育が好き、子ども達にたくさん教えてあげたいと思った瞬間でした。

体育といえば、男性教師が多い世界ですが、小学校では女性の先生方も保健体育の授業を行わなければなりません。そこで女性の先生方にも、気軽に本研修会に参加できるように、またたくさんの情報提供のお手伝いがあるのであればという気持ちで本研究会に所属し気づけばあつという間16年。

これまでにたくさんの先生方と出会い、諸先輩先生方から多くのご指導ご助言を頂きながら、公開授業や指導案検討会など多くの経験をさせて頂きました。そしてまた仲間として関わってくれた後輩達がいたからこそ、このような沖縄県体育功労賞という素晴らしい賞を頂くことができたと思っています。先生方には本当に感謝しています。

私自身微力ではありますが、これからも先生方のお手伝いができるよう、また自己研鑽に努め精進してまいりたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました。